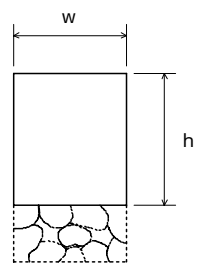
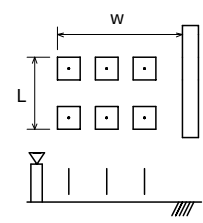
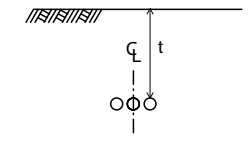
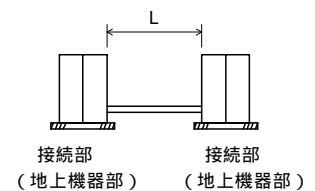


# 出来形管理基準及び規格値 第6編 河川編

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
6 河川編	1 築堤・護岸	7 法覆護岸工	4		護岸付属物工	幅 w	- 30
						高 さ h	- 30
6 河川編	1 築堤・護岸	10 水制工	8		杭出し水制工	基 準 高	± 50
						幅 w	± 300
						方 向	± 7 °
						延 長 L	- 200
6 河川編	1 築堤・護岸	13 光ケーブル配管工	3		配管工	埋 設 深 t	0 ~ +50
						延 長 L	-200

: 出来形管理図表を作成する。  
: 設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
		
1組毎		
接続部（地上機器部）間毎に1箇所。		
接続部（地上機器部）間毎で全数。 【管路センターで測定】		

# 出来形管理基準及び規格値 第6編 河川編

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
6 河川編	1 築堤・護岸	13 光ケーブル配管工	4		ハンドホール工	基準高	±30
						厚さ $t_1 \sim t_5$	-20
						幅 $w_1, w_2$	-30
						高さ $h_1, h_2$	-30
6 河川編	3 樋門・樋管	5 樋門・樋管本体内工	6	1	函渠工 (本体内工)	基準高	±30
						厚さ $t_1 \sim t_8$	-20
						幅 $w_1, w_2$	-30
						内空幅 $w_3$	-30
						内空高 $h_1$	±30
						延長 $L$	-200
6 河川編	3 樋門・樋管	5 樋門・樋管本体内工	6	2	函渠工 (ヒューム管) (PC管) (コルゲートパイプ) (ダクタイル鋳鉄管)	基準高	±30
						延長 $L$	-200

: 出来形管理図表を作成する。

: 設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位: mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
1 箇所毎 は現場打部分のある場合		
柔構造樋門の場合は埋戻前（載荷前）に測定する。 函渠寸法は、両端、施工継手箇所及び図面の寸法表示箇所にて測定。 門柱、操作台等は、図面の寸法表示箇所にて測定。 プレキャスト製品使用の場合は、製品寸法を規格証明書で確認するものとし、『基準高』と『延長』を測定。		
施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 施工箇所毎		

# 出来形管理基準及び規格値 第6編 河川編

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
6 河川編	3 樋門・ 樋管	5 樋門・ 樋管本 体工	7 8		翼壁工 水叩工	基 準 高	±30
						厚 さ t	-20
						幅 w	-30
						高 さ h	±30
						延 長 L	-50
6 河川編	4 水門	6 水門 本 体工	7 8 9 10 11		床版工 堰柱工 門柱工 ゲート 操作台 工 胸壁工	基 準 高	±30
						厚 さ t	-20
						幅 w	-30
						高 さ h	±30
						延 長 L	-50
6 河川編	5 堰	6 可動 堰本 体工	13 14		閘門工 土砂吐 工	基 準 高	±30
						厚 さ t	-20
						幅 w	-30
						高 さ h	±30
						延 長 L	-50
6 河川編	5 堰	7 固定 堰本 体工	8 9 10		堰本 体工 水叩 工 土砂 吐工	基 準 高	±30
						厚 さ t	-20
						幅 w	-30
						高 さ h	±30
						堰 長 L	L < 20m - 50 L ≥ 20m - 100

: 出来形管理図表を作成する。  
: 設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
図面の寸法表示箇所にて測定。		
図面の寸法表示箇所にて測定。		
図面の寸法表示箇所にて測定。		
基準高、幅、高さ、厚さは両端、施工継手箇所及び構造図の寸法表示箇所にて測定。		

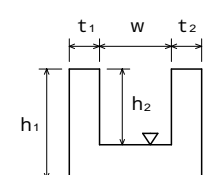
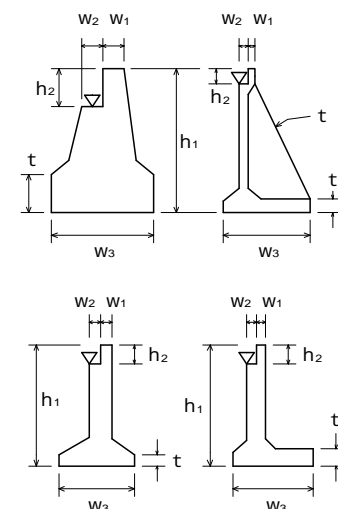
# 出来形管理基準及び規格値 第6編 河川編

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
6 河川編	5 堰	8 魚道工	3		魚道本体工	基準高	±30
						厚さ $t_1, t_2$	-20
						幅 $w$	-30
						高さ $h_1, h_2$	-30
						延長 $L$	-200
6 河川編	5 堰	9 管理橋下部工	2		管理橋橋台工	基準高	±20
						厚さ $t$	-20
						天端幅 $w_1$ (橋軸方向)	-10
						天端幅 $w_2$ (橋軸方向)	-10
						敷幅 $w_3$ (橋軸方向)	-50
						高さ $h_1$	-50
						胸壁の高さ $h_2$	-30
						天端長 $l_1$	-50
						敷長 $l_2$	-50
						胸壁間距離 $l$	±30
						支点長及び 中心線の変化	±50

: 出来形管理図表を作成する。

: 設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 箇所、40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p> 		
<p>橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は図面の寸法表示箇所で測定。</p> 		

# 出来形管理基準及び規格値 第6編 河川編

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
6 河川編	6 排水機場	4 機場本 体工	6		本 体 工	基 準 高	± 30
						厚 さ t	- 20
						幅 w	- 30
						高 さ h <sub>1</sub> , h <sub>2</sub>	± 30
						延 長 L	- 50
6 河川編	6 排水機場	4 機場本 体工	7		燃 料 貯 油 槽 工	基 準 高	± 30
						厚 さ t	- 20
						幅 w	- 30
						高 さ h	± 30
						延 長 L	- 50
6 河川編	6 排水機場	5 沈砂池 工	7		コ ン ク リ ー ト 床 版 工	基 準 高	± 30
						厚 さ t	- 20
						幅 w	- 30
						高 さ h	± 30
						延 長 L	- 50

: 出来形管理図表を作成する。

: 設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
図面の表示箇所 で測定。		
図面の表示箇所 で測定。		
図面の表示箇所 で測定。		

# 出来形管理基準及び規格値 第6編 河川編

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
6 河川編	7 床止め・床固め	4 床止め工	6		本體工 (床固め本體工)	基準高	±30
						天端幅 $w_1, w_3$	-30
						堤幅 $w_2$	-30
						堤長 $L_1, L_2$	-100
						水通し幅 $l_1, l_2$	±50
6 河川編	7 床止め・床固め	4 床止め工	8		水叩工	基準高	±30
						厚さ $t$	-30
						幅 $w$	-100
						延長 $L$	-100
6 河川編	7 床止め・床固め	5 床固め工	6		側壁工	基準高	±30
						天端幅 $w_1$	-30
						堤幅 $w_2$	-30
						長さ $L$	-100

: 出来形管理図表を作成する。  
: 設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位: mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
図面に表示してある箇所で測定。		
基準高、幅、延長は図面に表示してある箇所で測定。 厚さは目地及びその中間点で測定。		
1. 図面の寸法表示箇所で測定。 2. 上記以外の測定箇所の標準は、天端幅・天端高で各測点及びジョイント毎に測定。 3. 長さは、天端中心線の水平延長、又は、測点に直角な水平延長を測定。		